

創業者視点で考える 活力と魅力あるまちづくり

それぞれの分野で活躍中の4人の創業者。各々が市内で起業し、奮闘しています。

西東京市で創業した理由や起業時に行政に望むことのほか、今後の夢まで、皆さんの思いを池澤市長に語っていただきました。



01 創業の地に西東京市を選んだ決め手は?

市長 皆さんは、なぜこの西東京市で創業しようと思ったのかをお聞かせください。また、西東京市で創業する決め手になったものは何でしたか?

有馬 私は西武柳沢駅前で美容室と飲食店を経営しています。子どもがいますので、子どもと接する時間を最大化しようと考えたときに住まいのある西東京市で創業しようとを考えました。

保育園も近所なので、急病など何かあったときは、すぐ近くにお父さんがいるという昔ながらの地域密着スタイルがいいと思っています。



創業のきっかけは「ハンサムママ・プロジェクト」(以下、「ハンサムママ*」)に出会ったことでした。場所を考えたとき、有馬さんと同じように子どもが小さいで近くで仕事をしたいと思い、自宅で始めました。自然も豊かなうえ、日常生活も便利で子育てもしやすいので、仕事と両立できています。

本澤 私は新宿区の洋菓子店で長く修業をしていますが、独立を考えたとき、下の子どもが小さかったこともあって、自宅からの距離やまちの雰囲気の良さで選びました。店舗は人通りを考え、ひばりヶ丘駅前のかつてのメイン通りに構えました。自宅から自転車で田無駅に行くとき、住宅地から畑、駅前のビル群などと景色が移り変わることろが気に入っています。自然も豊かでとても住みやすいまちだと感じています。

業について教わりました。プランディングや税務について学べるほか、出会った仲間たちから意見をいただけたり、背中を押してもらえるなど、支えになっている部分が多くあります。

創業時から子どもを保育園に預けられるなど、子育て面からも起業する母親のバックアップがあると、さらにありがたいと思っています。



02 創業支援やスタートアップ誘致で、行政に望む役割は?

市長 創業支援やスタートアップ誘致において、行政が果たすべき役割(してほしいこと・もっとしてほしかったこと)は?

深松 私は「ハンサムママ」で起業の勉強をしたのですが、何も分からず状態から事業計画書や融資、物件探しなどの道順を教えていただき、起業を後押ししていただきました。起業をしたくても何から始めればいいのか分からない方もいると思いますし、まだまだ「ハンサムママ」の存在を知らない人もいると思います。私は市報で知りましたが、SNSなどでも情報を発信しているので、多くの人に知ってもらいたいです。アイデア段階から創業前に必要な具体的なスキルの習得まで、市でフォローできる体制があると、勇気を持って取り組めだと思います。

ただ、クリエイティブな仕事など、店舗を構えないことで労働の実態が見えにくい業種の方に対しては、フォローの充実が必要ではないでしょうか。

03 市に活力を生むために必要なこととは?

市長 西東京市をより「活力のあるまち」にするには、何が必要だと思いますか?

船越 私も深松さんと同じく「ハンサムママ」で起



市HP

HIBARIDO
ひばりヶ丘にあるシェアデパートメント「HIBARIDO」にて、対談・撮影を行いました。市の創業支援事業の一環として開設され、キッズチャーチ・ショップなどの区画があり、創業者がハンドル少なく事業を始められるサポート体制を整えた施設です。

1月に内覧会を催す。詳細はHIBARIDOへ



船越さん

た方など、どんな仕事をしているのか初めて知ることができます。そこで、「こんな人が地元にいて、こんな仕事をしている」ということを知る機会が増えれば、もう少し身近なところつながり、さまざまな仕事が回るようになると、地元がさらに活気づくのではないかでしょうか。

本澤 私は洋菓子店を営んでいるので、西東京市の特産物について知りたいですね。地元産のフルーツなどを使ったケーキやお菓子を売り出すことで、地元の活気につながると考えています。

洋菓子店だとフルーツのほか、小麦粉などの穀物も使います。事業者同士をつなぐサポートがあるとうれしいです。

有馬 市長に提案したかったのですが、有料のフェスを開催してもらいたいですね。地元出身のミュージシャンやアーティストを集めたフェスを行うことで、市のブランディングにもなると思います。そうすることで歳入にもつながりますし、市外からの集客によって市内の企業やお店も活気づくのではないかでしょうか。

深松 私は、教育分野の仕事をしているので、まちづくりのことを考える際、どうしても教育分野に視点が向いてしまいます。西東京市の特徴として、小学校と中学校とが比較的近い距離にあると思います。より小・中の学校間での生徒の交流機会を増やすことで、横断的な学習ができたらしいと思います。そのことが教育の質の向上につながり、まちの活性化にもつながる気がします。

04 10年後の夢はですか?

市長 皆さんの10年後の夢をお聞かせください。

本澤 最近はお菓子のネット販売が増えていますが、お客様が遠方からでも来たくなるお店にし

今年は4人の起業家の皆さんとの対談からスタートさせていただきました。職種が異なる方々でしたが、皆さんそれぞれに使命感を持ち、生き生きと将来の夢をお話しされる姿がとても印象的でした。また、市への要望やまちの活性化のアイデアなど、私たちも新たな気づきを得られました。

対談でも出ましたが、西東京市では「ハンサムママ」や「創業スクール」など新しく事業を始めようとする方を支援する制度を設けています。多くの方の起業を後押しすることで、まちが活性化し、市民の皆さんより充実した暮らしを送れるようになると思います。今年も、多くの市民の方々と対話し、市民一人ひとりが健幸に輝けるまちづくりに生かしていきます。

**市長
メッセージ**



専用

05 次世代の起業家へメッセージ

市長 最後に、若者や次世代の起業家にメッセージをお願いします。

深松 困難に直面したときは、やる方法だけを考えてほしいですね。どんな方法ならできるか考え続けることで、少しずつでも成功に近づくと思います。

失敗したとしても、どうすればうまくいかえることで、いずれできるようになると思います。

有馬 まずは失敗を恐れずにチャレンジしてほしい、ということでしょうか。そして10回のうち、1回しか成功しない前提で取り組んでほしいですね。失敗したとしても、うまくいくまで自分が選んだ道で粘り強く、何度もチャレンジしてほしいと思います。

船越 起業を選ぶのは勇気と覚悟がいることだと思います。現実は楽しいことより大変なこと、悩むことの方が多いくらいですが、自分の目標に向かって少しずつでも前進することが大切だと実感しています。あとは自分も相手も笑顔でいられる仕事を心がけることでしょうか。自分にも言い聞かせていますが、お互いが笑顔でいられる仕事をしてほしいですね。

本澤 私もまずは笑顔で取り組んでほしいと思っています。起業すると悩むことも増えますが、それでも楽しく仕事をしてほしいですね。特に私の場合、作り手なので自分の気持ちが落ち込んでいると商品の出来にも影響してしまいます。どんな仕事でも、笑顔で楽しく取り組んでいただきたいと思っています。

* 女性の働き方サポート推進事業
(ハンサムママ・プロジェクト)
子育て世代の女性を中心に、起業・創業および就労を支援するためのセミナー・イベントなどを開催し、女性の多様な働き方を推進する市の事業として、平成28年より実施。